

# 桐生西ロータリークラブ週報



シカールメー太郎会長 2021-22年度RIテーマ **SERVE TO CHANGE LIVES**

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



例会場 日本料理うおせん 桐生市広沢町1-2689 TEL 0277-54-1335  
 例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30 事務所 桐生市相生町2-249-1 清水方  
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp TEL 0277-22-9155  
 URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi FAX 0277-44-2777  
 会長 高森 勉 公共イマジ委員会 越塚ひとみ クラブ会報・雑誌担当 井本万里子  
 幹事 小林 聡 公共イマジ委員 田崎武夫、津久井正義、河内良範(歴史編集・IT・CIO担当)

No. 2233

2022年4月1日発行

## 第2362例会 (2022・3・25) 報告

- 故 星野幸男様のご冥福を祈り黙祷  
 星野幸男様ご長男 星野貴洋様からご挨拶
1. 点 鐘
  2. ロータリーソング
  3. 来訪者紹介
  4. 2月3月出席100%表彰・誕生・結婚祝い
  5. 米山奨学生終了挨拶
  6. 会長の時間

7. 幹事報告
8. 乾 杯
9. 食 事
10. 委員会報告
11. クラブフォーラム『創立50周年について』
12. 点 鐘
13. ロータリーソング

### ◆黙 祷

3月15日午後9時14分、当クラブの貴重なチャーターメンバーでありました星野幸男様が、病気療養中のところ享年90歳でご逝去されました。当クラブの発展のみならずロータリーに多大なる貢献をして頂きました故人のご冥福を祈り黙祷を捧げました。

### ◆星野幸男様ご長男 星野貴洋様からご挨拶

先日はお忙しい中、父の葬儀にご参列いただき、誠にありがとうございました。ロータリーの皆様にお見送りいただいて、父もさぞかし喜んでいましたことと思います。

父は母との結婚を機に大間々に来たので、最初は友達も少なく寂しかったようですが、ロータリーに入会してからは友人が増えて良かったと言っておりました。だからでしょうか、父はロータリークラブの例会に参加すること、そして仲間の皆さんにお会いすることを何よりも楽しみにしておりました。ロータリー活動は本当に父の生きがいであったように思います。

これからも父が愛した桐生西ロータリークラブ様が益々発展されることを心から祈念しております。言葉整いませんがお礼の挨拶に代えさせていただきます。

本日は貴重なお時間を頂きまして、ありがとうございました。

### ◆ピジター

米山奨学生 バトサイハン・ドラムスレンさん



### ◆2月出席100%表彰

〈8年〉  
栗原 秀一君

### ◆2月誕生祝い

新木 明夫君  
 青山 豊 君  
 池末 晋介君  
 中島俊太郎君  
 清水 重昭君  
 新井みゆき君



### ◆2月結婚祝い



金子福松君、 下井田秀一君、 野村 滋君  
 河内良範君、 坂口純雄君

### 《次例会予告》

4月8日(金) クラブフォーラム『創立50周年について』  
 4月の出席100%表彰、誕生・結婚祝い

◆ 3月出席100%表彰



(30年) 中野幸三郎君 (27年) 下井田秀一君  
(26年) 新木 明夫君 (21年) 江原 利夫君  
(9年) 小林 聡 君

◆ 3月誕生祝い

家住 慧路君  
野村 滋 君  
高森 勉 君



◆ 3月結婚祝い



家住慧路君、 井本万里子君、 花房孝道君、  
堀江絹子君、 今泉攻一君

◆ 米山奨学生終了挨拶

バトサイハン  
ドラムスレンさん

米山奨学生に選ばれたお陰で、経済的に問題なく充実した学生生活を送れました。私の事を信じて下さった多くの日本人の方々に感謝します。この感謝の気持ちを忘れずに、日本社会に貢献できるエンジニアになる様に努力します。23日に群馬大学修士課程を無事卒業し、明日就職先の広島に行きます。奨学生や桐生西RACで得た貴重な経験を活かして頑張ります。今迄ありがとうございました。



◆ 会長の時間

高森会長

1. 暫く振りに例会が開催でき皆様にお会いできました事を嬉しく思います。第3四半期も後半になり例会も残り僅かになりました。この後、下井田実行委員長より創立50周年についてお話がありますが、星野幸男大先輩が先立たれ、一緒に周年事業を迎えられなかった事は残念で仕方ありません。この様な現実をしっかりと受け止めて今後の50年に繋いで行くことが一番大切な役目だと思いますので、皆様よろしくご協力をお願いします。

2. 休会中の報告事項が沢山ありますので、本日配布

のクラブ会報に掲載致しました。ご覧頂く事で会長報告に代えさせていただきます。

3. 先週の金曜日、創立50周年実行委員会が開催され、なかなか予定が立てられない状況の中で、記念式典の内容が具体的になってきました。漸く来月本番を迎える運びとなりましたので、引き続きご協力をお願い致します。

◆ 幹事報告 小林(聡)幹事

◇ 次週は足立ガバナー公式訪問です。例会前11時10分から足立ガバナーとクラブ役員との懇談会を、別館バンケットホールで開催しますので、該当者は宜しくお願い致します。

◇ ロータリーの友3月号を配布致しました。  
◇ ㈱クマヒラ・熊平製作所・会長熊平雅人様(東京RC)より「抜萃のつゞりその八十一」を会員数頂戴しました。  
◇ 4～6月のプログラム予定表を配布致しました。  
◇ ガバナー月信3月号が配信されました。(各テーブルに配布)  
◇ ハイライトよねやまvol. 263が配信されました。

◇ 3月のロータリーレートは1ドル116円です。今円安が進んでおり4月は変更が予想されますので、R財団へ寄付を予定されている方は成るべく本日中にお願ひします。

◇ RI日本事務局財団室NEWS「ウクライナ人道的危機への対応」が配信されました。

◇ 下記のものが届いております。

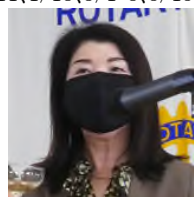
- ・ 中野ガバナーエレクトよりPETS・SETS出席のお礼状
- ・ 群馬大学クラウドファンディングの「領収証」、「お礼とご報告」、「広報誌GU'DAY」
- ・ 高崎南RC創立60周年記念式典中止のお知らせ
- ・ 前橋東RC創立45周年記念式典中止のお知らせ
- ・ 第19回ロータリー全国囲碁大会のご案内
- ・ 樹徳高等学校から卒業式カーネーションのお礼状
- ・ (社福)広済会より機関誌「つつじ」第61号
- ・ 桐生市商工会議所より「桐生商工だより」2月号3月号
- ・ ㈱オクトンと㈱フジマキネクタイより2022-23年度ロータリーカタログ一式

◇ 例会変更のお知らせ  
伊勢崎東・前橋北RC 3/28 安中RC 3/29  
碓井安中RC 3/31(休) 富岡RC 3/30

◇ クラブ会報が到着しています  
桐生南RC 1/5,1/19 桐生赤城RC 1/11,1/18,3/1・8,3/15

◆ 乾杯 堀江会員

久し振りに皆様のお顔が見えて本当に嬉しく思います。ここに来る途中に桜のつぼみが薄紅色に色づいていたのが目にとまりました。今年度残り3ヶ月を桜の花の様に咲き誇って綺麗にやっけて行きたいと思っていました。それでは桐生西RCのますますの発展を祈念致しまして、乾杯!



◆ 昼食メニュー お弁当、お吸い物

◆ 委員会報告

□ クラブ運営委員会

◇ 出席報告 山同出席担当  
会員総数52名 (出席免除者10名の内8名出席の為)  
出席率対象者50名、出席率対象者出席人数40名  
欠席者10名(内前メイク5名) 出席率90.00%  
前々例会修正出席率94.23% (最終欠席者3名)

□ 抛金委員会

◇ ニコニコBOX 早川抛金委員

星野幸男会員の御冥福を祈る 金子君  
星野幸男会員を偲びご逝去を悼んで 野田君  
50周年よろしくご協力致します 下井田君  
誕生祝いを頂いて 家住君、新木君、清水君  
結婚祝いを頂いて 金子君  
久しぶりの例会です。昨夜は興奮して寝られなかったです 阿左美君

うれしい、やっと例会ができました 小林(恵)君  
 久々の例会です。残り少ないですが宜しくお願いしま  
 す 小林(聡)君  
 お久しぶりです 乾君、近藤君、中島君  
 やっと皆さんの顔が見られます 青山君  
 やっと自分で運転できるようになりました 山形君  
 如何なる戦争も反対です 野村君  
 昨日息子が小学校を卒業しました 池末君  
 リサイクル募金にご協力ありがとうございます 船戸君

◇ロータリー財団 清水掘金委員長

星野幸男様を偲びご逝去を悼んで 野田君、近藤君  
 出席100%を頂いて 下井田君  
 誕生祝いを頂いて 清水君  
 結婚祝いを頂いて 金子君、家住君  
 お久しぶりです 中島君  
 今この世で一番きれいな人プーチン 野村君  
 梅が終わり桜の季節が来ますね 乾君  
 じゃがいも里芋植えました 船戸君  
 装具が外れたのですがまだ左手が上がりません不便

です 山形君  
 ◇米山ボックス 清水掘金委員長  
 ドカさん卒業おめでとう 野村君、乾君  
 結婚祝いを頂いて 金子君、下井田君  
 池末さん江原さんお世話になりました 近藤君  
 久々の例会楽しみです 山形君、堀江君  
 ご無沙汰しております 中島君  
 東京国際アートフォーラムに行つて来ました 家住君  
 本当によく動いています。40日で30万歩以上歩いてます 船戸君

□公共イメージ委員会

◇雑誌 井本クラブ会報・雑誌担当

ロータリーの友3月号の紹介をします。  
 今月は特に右開き縦組みの講演要旨「語り継ぐ震災  
 今、あなたと共に」(東北大学助教・菅野武氏)です。  
 震災に遭って11年経った被災者の方々について述べて  
 いらっしゃいます。先日も大きな地震がありまし  
 ましたが、災害対策について大変参考になる事が書かれ  
 ていますので、是非ご一読下さい

◆クラブフォーラム

創立50周年について



創立50周年実行委員長  
 下井田秀一 Past会長

『創立50周年宣言について』

まずは、星野幸男様へ心から御冥福をお祈り申し上げ  
 ます。星野先輩には50周年の相談役になって頂いて  
 おり、昨年12月にご自宅にお伺いした際は大変お元  
 気でいらっしゃいました。コロナで玄関先で失礼した  
 のですが、今思いますとお言葉に甘えてもっとお話を  
 して来れば良かったと後悔しております。

さて、本題に入ります。まずは先日の実行委員会も  
 含めてお骨折り頂いております委員の方々はじめコロ  
 ナの為どの様な形で50周年を行うのかとご心配頂いて  
 おります会員皆様に改めて感謝申し上げます。

創立50周年は、式典当日の4月17日(日)のみならず  
 前後数回の例会も含めて50周年事業と致します。本日  
 はその第1回目の関連例会です。次回は4月8日(金)、  
 その次は4月22日(金)を予定しています。この2回の例  
 会では、過去50年の歴史を振り返り10年毎に区切って  
 5人の方にお話をさせて頂きたいと考えております。

創立50周年は、コロナ禍により極めて小規模にやら  
 ざるを得なくなった代わりに、会員による内部充実を  
 図る事を主目的にしております。その1つは半世紀に  
 亘るクラブの歴史を綴る『記念誌』、2番目は内部充実  
 の実をあげる為の関連例会、3番目は半世紀の節目と  
 してクラブの志を示す『創立50周年宣言』、4番目は会  
 員のショートコメントです。この中には今後取り組む  
 べき事のヒントが沢山詰まっていると感じました。

本日は『創立50周年宣言について』ですが、1月21  
 日に策定委員会を開催しました。メンバーは坪井ガバ  
 ナー補佐、現年度・次年度・次々年度会長幹事、私と副  
 実行委員長でもある向田実行幹事の9名です。その会で  
 本日皆様にお示しする内定案を作成しました。予定と  
 しましては、ご質問やご意見を伺った上でご内諾を頂  
 戴し、4月17日の式典で採択させて頂きます。それでは  
 内定案についてご説明致します。

「桐生西ロータリークラブ創立50周年宣言」(内定案)

半世紀の歴史を踏まえ、さらに次の半世紀へ向けての  
 第一歩を踏み出すにあたり私達の未来への志を以下に  
 宣言する。

1. 私達は半世紀にわたり数々の奉仕の実践を重ねて来た  
 先人達の実績を尊重し、誇りをもって継続に努めます。  
 さらに、それを時代の変化に応じて進化させます。
1. 私達は互いの友情を育み「奉仕の理念」に基づき、豊か  
 で健全な社会の発展と平和に貢献します。
1. 私達は奉仕の理想で結ばれた世界的ネットワークを通じ  
 て相互理解と友好を深めます。
1. 私達は奉仕の機会を共有する仲間を増やして活力あふ  
 れるクラブを築き、友情と信頼の輪を拡げます。

◇50周年宣言解説

1. 半世紀の歴史と実績に対する誇りと先人への尊敬
  - ・50年の歴史と実績に対して誇りを持ち、  
 先人への尊敬の念を忘れない。
  - ・数々の奉仕の実践と経緯を良く理解して知識を深め、  
 責任感を持って継続に努めましょう。
  - ・時代の流れに対応した奉仕活動内容の変更は必要。  
 但しその際、スタート時からの先人達の思いや  
 歴史を踏まえたいうで慎重に検討しなくてはな  
 らない。様々な角度から考慮して“もっと良く  
 なる”という説得力と既存受益者への配慮が必要。  
 浅薄な思い付きや拙速な決定は避けなければな  
 らない。それが変化ではなく「進化」です。
2. クラブ奉仕、奉仕活動(職業、社会、国際、新世代)の  
 維持拡充と継続
  - ・会員相互の友情とその増進(クラブ奉仕)、  
 出席の重視と例会の充実がまず第一。  
 “出席なくして親睦なし、親睦なくして奉仕なし”  
 (星野幸男先輩)
  - ・会員各位がそれぞれの職業発展に邁進し、さらに  
 それをご紹介いただいて学びながら知識を深めて  
 きました。
  - ・数々の社会奉仕活動を通じて弱者に寄り添ってき  
 ました。地区補助金の参加は100%を継続しています。
  - ・私達の国際奉仕の実績は地区内で突出しています。
  - ・インターアクト、ローターアクトを提唱してそれ  
 を継続しているのは誇るべき事です。
  - ・群大工学部留学生交流会は我クラブが単独で始め  
 て現在に至っています。
3. 姉妹・友好クラブとの友情交換と交流の継続
  - ・活発な海外姉妹クラブとの交流で多くの得がたい  
 経験を重ねてまいりました。
  - ・それぞれのクラブとの交流の歴史と先人達の努力  
 について知識を深めましょう。

- ・国際奉仕の多くの実績は海外姉妹クラブとの交流と密接に関連しています。
- ・栃尾RCとも良好な友好関係が続いています。

4. 会員増強の意志

- ・会員増強と退会防止はクラブ繁栄の大きな鍵です。全員参加で意識を高めましょう。

<補足>

- ・国際ロータリーの一員であることを誇りとし、その責務を果たしましょう・
- ・先人達の地区運営(ガバナー、地区役員、地区委員)

での貢献をよく知って彼らの実績や努力に敬意を払い、自らの参加も含めて協力しましょう。

- ・特に、未経験の会員はチャンスがあれば是非トライしてもらいたいものです。

ロータリーへの理解度と参画意識が高まります。

※ 創立50周年宣言は、本会であがった意見を参考にして策定委員会で再度検討し、策定委員会に一任する。

※ 4月17日(日)は記念講演と記念式典を開催し、祝賀会は開催しない。(配布資料参照のこと)

第35回 施設優良職員職業奉仕賞表彰 実施

桐生西RC伝統事業『施設優良職員表彰』を、蔓延防止等重点措置により当初の予定を大幅に延期して3月29日(火)の午前中、奉仕プロジェクト委員長の新島健介君と小林聡幹事が、各施設に賞状と記念品お届けする形で実施致しました。

普段の労に加え、コロナ感染症にも対峙されている施設職員皆様のご苦勞と任務の重さに改めて敬服しました。

6施設よりご推薦頂いた本年度の被表彰者の皆様は、下記の通りです。

受賞者の皆様

社会福祉法人希望の家 療育センターきぼう	橋本 三枝子様
〃	藤田 久美様
社会福祉法人チハヤ会 は一とふるチハヤ	福本 昌彦様
〃	鈴木 奈美様
社会福祉法人桐生市社会福祉協議会 桐生みやま園	小池 真紀様
〃	二階堂 敦子様
社会福祉法人広済会 つつじヶ丘光の園	黒内 芳子様
社会福祉法人三和会 おれっちあいおい	野上千枝子様
〃 藤和グループ事業所	小池 聡子様
社会福祉法人桐の実会 わたらせ養護園	大橋 花霞様

療育センターきぼう 藤田久美様より謝辞

この度は、桐生西ロータリークラブ様より優良職員表彰をお受けできますことを厚く御礼申し上げます。

私は、平成9年より希望の家に作業療法士として入職し、重度心身障害を持つ入所者様、重度心身障害、肢体不自由、発達障害など様々な障害を持つ外来患者様のリハビリを担当しました。当時はどのようにコミュニケーションを取ればよいか、どのようにリハビリを進めればよいか分からず戸惑うばかりで、何もできない事が申し訳なく、苦しく悲しい思いでいっぱいでした。そんな私に“講義の手伝い”という役割を与え、基礎から教えてくれた当時の課長をはじめ、たくさんの事を学ばせてくれた先輩方のおかげで、利用者様と少しずつコミュニケーションが取れるようになり、たくさんの笑顔に出会え、徐々に仕事が楽しいと思えるようになりました。3年目には通園に配属になり、「家庭・地域での暮らし」について学びました。暮らす場所が違っても、共通するのは「活動を楽しむこと」が利用者様の心身機能の向上につながることで、利用者様の生き活きた姿を見て周りも喜びを感じる事だと思いました。

入職7年目に、特別養護老人ホームへ配属になりました。今までは発達に目を向けていましたが、こちらでは見取りの段階の方のリハビリも担当することになり、死を迎える事について沢山考えさせられました。はじめはお別れがつらく、何もできないと打ちのめされる事もありましたが、1日のうち数分でも楽しく過ごす事、苦しみから解放される事が利用者様の利益になると考えるようになりました。

元気な入所者様とは、体操や回想法、学習療法など様々な活動をしたが、発達期の方と同様に、活動を楽しむことが大事で、それにより心身の健康が維持できると実感できました。施設外では、地域で暮らす高齢者の体操教室や回想法の会、介護予防サポーター研修などの事業にも参加する機会があり、様々な知識を得ることができ、また、視野を広げることができました。

「心身の機能を向上させる・維持させる」ことがリハビリの目標だと思っていましたが、乳幼児期から高齢期まで地域生活も施設生活も幅広い患者さんを経験させていただいたおかげで、「その人がその人らしく生き活きと人生を送るため」を第一に、周囲の人と連携を取りながら作業療法士としてどのようにアプローチできるかを考えられるようになりました。

11年目から現在までは療育センターに配属になり、外来のお子さんを担当しています。「この子は何がしたい?この子が生き活きするためにはどんな環境が必要?」今でも試行錯誤の毎日です。悩んで行き詰ることもあります。周囲の方の助言や笑顔に励まされて何とか進んでいます。私ができることはわずかですが、他職種のみなさん、ご両親、保育者の方々と連携して、少しでも喜びにつながるようなリハビリができるように努力していきたいと思えます。

今回の表彰はとても励みになります。また、これまでを振り返り、今後の働き方を考える良い機会になりました。このような機会を与えていただき、ありがとうございました。



謝辞:藤田久美様  
療育センターきぼう